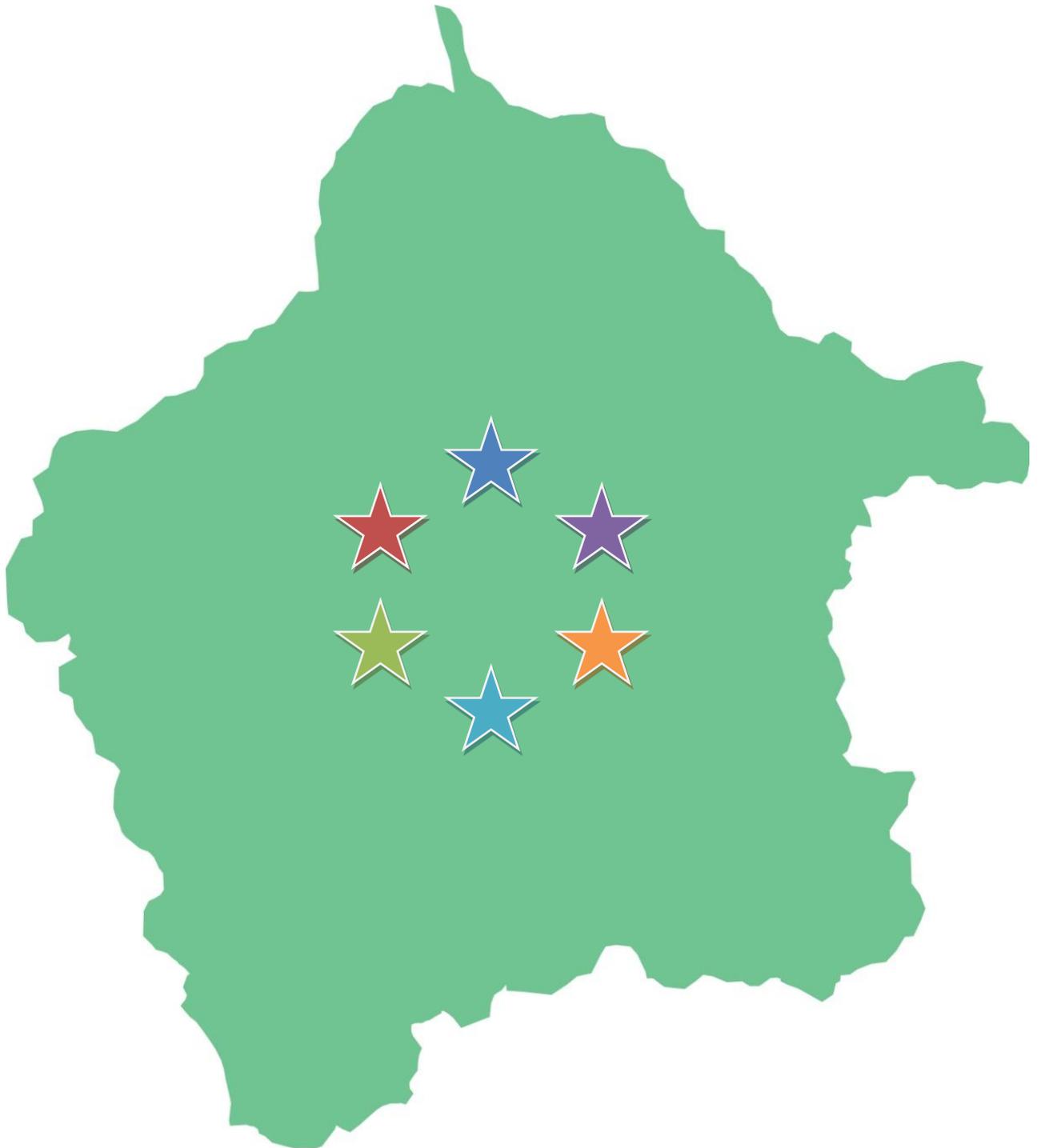


遠野市六次産業化・地産地消推進戦略



令和3年4月9日策定

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会

遠野市六次産業化・地産地消推進戦略

地域資源・地域の魅力を六次産業化で付加価値向上！

● 六次産業化…とは？

…農産物や地域資源を有効に活用した農業者等が加工・販売等の事業の多角化及び高度化する取り組みをいいます。

また、この戦略の中では、農業者と商工業者等が通常の商取引関係を越えて協力し、お互いの強みを活かして新商品・新サービスの開発を行い、新しい需要開拓を行う“農商工連携”も含まれます。

● 地産地消…とは？

…地域で生産された農産物をその生産された地域内において消費したり利用したりすることをいいます。

【推進に向けた課題】

◆ 将来避けたい まちの活力が失われていく 悪い循環

人口減少・少子高齢化・コロナウイルス感染症拡大

後継者不足、担い手不在

地域産業の規模縮小

景観保全困難、催事中止

観光客の減少

地域経済の規模縮小

◆ 地域活性化のために 取り組むべき課題

遠野の豊かな地域資源の活用

農林水産物、工芸品、自然・文化、風景や観光施設など

- ・観光客や購買者の需要動向把握
- ・新商品や新サービスの開発力向上
- ・販路拡大
- ・支援体制の充実

地域資源・地域の魅力を六次産業化で付加価値向上！

[目標]

六次産業関連効果額 R1 18.5億円 → R7 18.8億円(3千万円増)

[方向性]

- 地域資源の掘り起こしと活用 …産学官連携による地域資源の掘り起こし
- 六次産業化、農商工連携の促進 …新商品、新サービスの開発支援
- 地産地消等・農産物の地域内利用と交流の促進 …産直、学校給食の地域食材の利用、道の駅遠野風の丘魅力向上
- 販路拡大の促進 …商談会、展示会、産地見学会
- 支援機関の連携・充実 …支援機関の連携、研修会、交流会
- 6つの重点プロジェクト …道の駅・産直の魅力向上、ビールの里づくり等



【推進体制】

◆ 産業分類の枠組みを超えた支援機関の連携

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会

(関係機関)

遠野ふるさと商社

遠野市産直連絡協議会

遠野市観光協会

遠野商工会

花巻農業協同組合
(遠野地域営農センター)

[アドバイザー]

東北農政局 (岩手拠点)

(株)パイロットフィッシュ

6次産業化プランナー

(金融機関)

(株)東北銀行 (地域応援部)

(株)北日本銀行 (営業統括部)

(株)岩手銀行 (法人戦略部)

(行政機関)

岩手県 (遠野農林振興センター)

遠野市教育委員会
(学校給食センター)

遠野市産業部(六次産業室)

協議会 会長
産業部長

事務局員 六次産業室

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会

(事務局) 遠野市産業部六次産業室

0198-62-2111 (内線 441)
<http://www.city.tono.iwate.jp>



遠野市六次産業化・地産地消推進戦略

《 はじめに 》

(1) 戦略策定の趣旨

第2次遠野市総合計画基本構想では「永遠の日本のふるさと遠野」を将来都市像に掲げ、遠野スタイルの創造・発展を基本理念にまちづくりを推進することとされています。

遠野市六次産業化・地産地消推進戦略は、遠野市総合計画に即し、遠野スタイル創造・発展総合戦略の重点プロジェクトとして、遠野市の地域資源を活用した生産、加工、販売を一体的に取り組む六次産業化や農商工連携、地産地消等の取り組みを地域総ぐるみで推進するための方策をまとめたものであり、地域産業の振興のための道筋を示すものです。

(2) 目標年度

戦略期間	令和3年度から令和7年度まで
目標年度	令和7年度

(3) 進行管理

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会は、地域資源を活用した六次産業化や農商工連携、地産地消等の取り組みを推進し、遠野市六次産業化・地産地消推進戦略で掲げる成果目標の達成状況を把握するとともに、必要に応じて見直し改善を図るものとします。

第1章 現状と課題

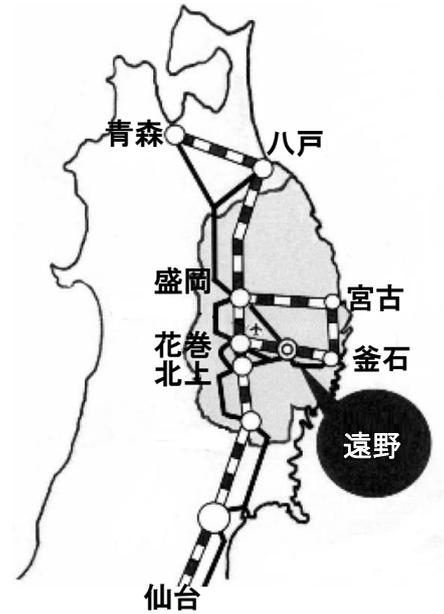
(1) 遠野市の概況

遠野市は、岩手県を縦断する北上高地の中南部に位置し、東西、南北ともに約38km、総面積は825.97k㎡です。

標高1,917mの早池峰山を最高峰に、標高1,000m前後の山々と標高700m程度の高原群が周囲を取り囲み、中心部から周辺部へ向けてなだらかな勾配となっています。市域の中央部に遠野盆地があり、市街地を形成しています。猿ヶ石川が大小多くの河川と合流しながら西走し、それらの河川沿いを中心に耕地と集落が形成され、田園風景と農村景観が広がっています。

冷涼な気候と豊かな自然環境を活かした農林水産業を基幹産業とし、米や野菜、畜産を組み合わせた複合経営がなされています。

藩政時代には遠野南部家1万2千5百石の城下町として内陸部と沿岸部を結ぶ宿場町として栄えました。明治43年に柳田國男が著した『遠野物語』の舞台として、今では観光地としても知られています。



(2) 遠野市の人口

遠野市の総人口は減少が続き、今後も減少していくと予想されています。また、就業人口は総人口の減少とともに減少し、特に第1次産業の割合が減少し、第3次産業の割合が増加傾向にあります。

[図表 年齢別人口の推移]

単位：人・%

	国勢調査					将来見越し		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年
人口	33,898	33,108	31,402	29,331	28,062	26,328	24,506	22,689
年少人口 (0~14歳)	5,470	4,574	3,889	3,333	3,000	2,747	2,474	2,248
	16.1%	13.8%	12.4%	11.4%	10.7%	10.4%	10.1%	9.9%
生産年齢人口 (15~64歳)	20,663	19,398	17,388	15,914	14,533	12,943	11,547	10,503
	61.0%	58.6%	55.4%	54.3%	51.8%	49.2%	47.1%	46.3%
高齢人口 (65歳以上)	7,765	9,136	10,125	10,070	10,471	10,638	10,485	9,938
	22.9%	27.6%	32.2%	34.3%	37.5%	40.4%	42.8%	43.8%

資料：平成7年度から平成27年度は国勢調査 ※年齢不詳を除くことから、各区分の人数と人口は一致しない。

令和2年度から令和12年度は国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来推計人口（平成30年3月推計）」

資料：遠野市総合計画

[図表 就業人口の推移]

単位：人・%

	国勢調査					将来見越し		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年
第1次産業	5,224	4,414	3,771	2,923	2,632	2,036	1,533	1,136
	28.5	24.8	23.4	20.8	18.4	16.0%	13.5%	11.0%
第2次産業	5,875	5,928	4,680	4,162	4,424	4,073	3,747	3,512
	32.1%	33.3	29.1	29.5	31.0	32.0%	33.0%	34.0%
第3次産業	7,231	7,471	7,639	6,995	7,235	6,618	6,075	5,680
	39.4	41.9	47.5	49.7	50.6	52.0%	53.5%	55.0%
合計	18,330	17,813	16,090	14,080	14,291	12,727	11,355	10,328

資料：遠野市総合計画

(3) 遠野市の産業別市内純生産額

産業別市内純生産額の推移をみると、農業生産額が減少し、製造業の生産額が高いことがわかります。

産業別市内純生産額の推移

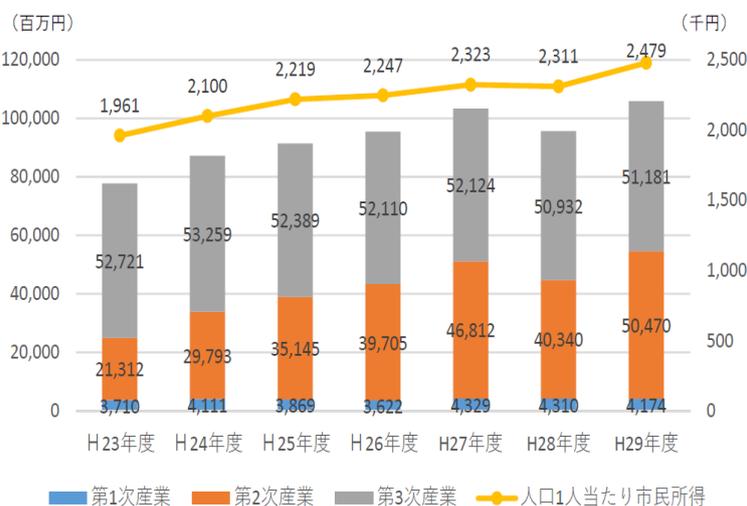
[図表 市内総生産の推移]

単位：百万円、%

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
市内総生産額(百万円) A = B+C+D+E	78,162	87,654	92,030	96,392	104,058	96,021	106,452
第1次産業 B	3,710	4,111	3,869	3,622	4,329	4,310	4,174
第2次産業 C	21,312	29,793	35,145	39,705	46,812	40,340	50,470
第3次産業 D	52,721	53,259	52,389	52,110	52,124	50,932	51,181
税・関税等 E	419	491	627	955	793	439	627
市民所得の分配(百万円) F = G+H+I	56,829	60,313	62,955	63,030	65,198	63,926	67,323
雇用者報酬 G	36,452	36,823	37,057	37,832	38,346	39,319	41,088
財産所得 H	2,705	2,656	2,573	2,811	2,950	2,930	2,828
企業所得 I	17,673	20,833	23,325	22,387	23,902	21,678	23,406
人口1人当たり市民所得(千円) F/J	1,961	2,100	2,219	2,247	2,323	2,311	2,479
総人口(人) J	28,984	28,724	28,377	28,047	28,062	27,658	27,161

資料：遠野市市勢要覧

資料：市町村経済計算



資料：遠野市総合計画

(4) 推進に向けた課題

人口減少による後継者不足によって農林漁業が衰退していくと、遠野らしい農村景観の維持が困難になり、『遠野物語』が息づく風景を期待する観光客へも影響していきます。人口減少、後継者不足、そして観光客数の伸び悩みが重なると、市の経済規模が縮小し、まちの活力が失われかねません。

地域活性化を図るため、農産物、鉱工業品、自然・文化、風景や観光施設などの遠野の豊かな地域資源を活用した六次産業化、農商工連携、地産地消等の推進が必要です。

そのためには、観光客や購買者の需要動向を把握しながら、新商品や新サービスの開発力向上と販路拡大、更に支援体制の充実化が課題となります。

令和3年4月3日リニューアルオープンした道の駅遠野風の丘 産直コーナー



第2章 戦略の目標と方向性

(1) 基本的な考え方

地域総ぐるみの六次産業化で地域資源の付加価値向上！

農林水産物、鉱工業品、自然・文化・風景や観光施設などの遠野の豊かな地域資源を有効に活用し、農業者が生産から加工・販売に進出する取り組みや、農業者と企業等の商工業者との連携による新商品・新サービスの開発など、地域資源の付加価値を高めようとする取り組みを地域総ぐるみで推進します。

また、農業者と小売業者、消費者の交流を広げ、地域内で生産された農産物の域内利用と交流拡大を促進します。

(2) 戦略目標の設定

六次産業化・地産地消推進戦略における目標は、令和7年度までに遠野市内の六次産業効果額を18億8000万円と設定します。

[6次産業関連効果額]

R1 18.5億円 → R2 18.8億円 (約3千万円増)

(単位：億円)

	R1 (現状)	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
			(戦略期間)				
製造品出荷額(食料品のみ)	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
加工品出荷額調査(岩手県調べ)	2.3	1.6	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
特産品販売額	5.9	3.2	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
農産物直売所売上額(売店除く)	5.5	4.8	5.5	5.5	5.5	5.5	5.8
(合計) 6次産業効果額	18.5	14.6	18.5	18.5	18.5	18.5	18.8

※ 四捨五入のため、積み上げの計の一致しない箇所がある。

(3) 戦略の方向性

遠野市六次産業化・地産地消推進戦略は、遠野市総合計画に即し、遠野スタイル創造・発展総合戦略は、6つの推進方策と6つの重点プロジェクトとして推進します。

● 地域資源の活用・未利用資源の掘り起こし

地域資源の活用を促進します。また、未利用地域資源の掘り起こしに取り組みます。

● 六次産業化、農商工連携の促進

地域資源を活用した新商品・新サービスの開発を促進します。

● 地産地消等・農産物の地域内利用と交流の促進

道の駅、農産物直売所、総合食育センターと連携、地元食材の利用・販売拡大を図ります。

● 販路拡大の促進

商談会、展示会等への出展支援や先進地見学の開催等による販路拡大の機会を拓けます。

● 支援機関の連携・充実

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会を中心に、商品開発や販路開拓等の研修会、交流会、商談会などを通じ、六次産業化・地産地消を推進する支援体制の充実を図ります。

● 6つの重点プロジェクト

六次産業化・地産地消の取り組みを加速させる事業を実施します。

第3章 六次産業化・地産地消の推進（6つの推進方策）

（1）地域資源の掘り起こしと活用（企画・検討段階）

○ 地域産業資源の活用

農林水産物、鉱工業品、自然・文化・風景や観光施設などの遠野の豊かな地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・生産を促進します。

特に、地域産業資源に指定された農林水産物や遠野市農林水産ビジョン（タフ・ビジョンⅢ）における生産振興の対象品目を活用した新商品開発については、重点的に支援していきます。

	生産振興対象品目	地域産業資源指定農林水産物
[水稲・転作作物]		米、麦、大豆、雑穀
[野菜]	ピーマン、ニラ、きゅうり、アスパラガス、琴畑かぶ、パドロン、カリフラワー	ほうれんそう、早池峰菜、クレソン、ホップ
[果樹]		りんご、ブルーベリー、やまぶどう
[特用林産]		しいたけ、わさび、
[畜産]		いわて牛、牛乳、馬
[内水面]		イワナ、ヤマメ

○ 事業シーズ（種）の掘り起こし

大学等地域の高等教育機関による地域志向の教育・研究活動との連携を図り、地域資源を活用した新たな事業シーズ（種）の掘り起こしなどの調査・研究を推進します。また、試験研究機関との連携による新商品の分析調査を促進するなど、商品の品質保持を図ります。

[活動指標]

	～R1 (現状)	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
大学等試験研究機関との共同研究・事業 (件/年)	3	1	1	1	1	1	1

（2）六次産業化・農商工連携の促進（試行・実践段階）

○ 新商品・新サービスの開発力向上

新商品・新サービスの開発に挑む事業者が参画する研修会や相談会を開催するほか、事業計画の作成支援を通じて、新商品・新サービスの開発力向上を図ります。

○ 新商品・新サービスの可能性調査

地域資源を活用した新商品・新サービスの市場調査等、事業化可能性調査を支援し、購買者の需要を意識したイノベーション活動を促進します。

○ 総合化事業計画認定等の促進

国の総合化事業計画をはじめ地域資源を活用した新商品・新サービスの開発に資する各種認定制度の取得を促進します。

○ 地域食材の利用促進

外食・中食に適した地域食材の調査を実施するほか、事業者に対する情報提供を行います。

○ 商品開発コーディネーター機能の充実

地域資源を活用した新たな取り組みに挑戦する事業者の相談窓口の設置のほか、専門的な立場から商品開発コーディネーターの助言・指導体制の充実化を図ります。

○ 財政支援、金融支援等の活用

補助金等の財政支援や金融機関とも連携し、事業が円滑に実施できるよう金融支援の活用を図ります。

また、クラウドファンディングなど、新たな資金調達の試みも支援します。

[活動指標]

	R1 (現状)	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
チャレンジ応援補助件数							
相談等支援数(件/年)	4	13	5	5	5	5	5

[成果指標]

	R1 (現状)	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
六次産業化・地産地消法の総合 化事業計画の認定数(延べ件数)	3	3	4	4	4	4	4
製造品出荷額(食料品のみ)(億円)	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
加工品出荷額調査(億円)	2.3	1.6	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

(3) 地産地消の推進(域内利用)

○ 農産物等の地域内利用や生産者と消費者の交流

地域農産物や加工品の販売を行う農産物直売所等の運営や食堂の展開など、生産者と消費者の交流を推進します。

○ 学校給食における地域農産物の利用拡大

学校給食に地域農産物を使用し、食育の推進を図ります。

○ 市内の物産イベントへの参画

道の駅リニューアルオープン、JR釜石線のSL運行や東北DC開催、遠野市や周辺地域での集客機会や、収穫祭、産業まつりや各種行事・祭事での新商品・新サービスの提供など、市内のイベントへの参画を促進します。

[活動指標]

	R1 (現状)	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
学校給食に使用する遠野産食材の 割合(%)	64.9	64.4	65.5	65.8	66.1	66.4	66.6

[成果指標]

	R1 (現状)	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
農産物直売所売上額(億円)	5.5	4.8	5.5	5.5	5.5	5.5	5.8
特産品販売額(売店のみ)(億円)	5.9	2.5	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0

(4) 販路拡大の促進(域外販売)

○ 商談会、展示会等への出展

商談会、展示会等への出展を支援し、新商品の販売先となる流通業者等とのマッチング機会を作るほか、交流市町村をはじめ都市部での市場調査等を支援します。また、外食・中食事業者等を産地見学会等により招致を図り、地域農産物の販路拡大を促進します。

○ 国外やWEB販売への販路開拓

地域農産物や新商品の海外販売促進活動やインターネット等仮想空間での新たな販路開拓への挑戦を応援します。

[成果指標]

	R1 (現状)	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
商品の海外販売額 (百万円)	20.0	8.0	15.0	15.0	15.0	15.0	20.0

(5) 支援機関の連携・充実（支援体制）

○ 地域での創業支援

創業希望者に対する相談窓口の設置や創業支援塾等の開催、信用保証等の金融支援など、地域での創業を促進します。

○ 小規模事業者の支援

小規模事業者の経営計画の作成や、創意工夫による販路開拓に向けた取り組みを支援します。

○ 金融支援措置の拡充

チャレンジする六次産業応援資金など、六次産業化・地産地消の事業に対する金融支援を拡充します。

[成果指標]

	R1 (現状)	R2 (実績)	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
創業支援塾受講者数							
創業支援件数（件/年）	21	12	10	10	10	10	10

(6) 6つの重点プロジェクト

★ 道の駅「遠野風の丘」魅力UP！

地域活性化の拠点として、六次産業化や地産地消を代表する「遠野風の丘」リニューアル整備後に、更に魅力向上を図るため、店舗レイアウト及び陳列の改良、商品開発に商社・地元事業者とともに取り組みます。

★ 農産物直売所の安全安心対策

地産地消の拠点となる農産物直売所で販売される地域農産物や加工品について食品衛生関連法令を遵守し販売。

また、コロナウイルス感染症対策を行うなど、安全安心対策を向上します。

★ ローカルベンチャー事業

地域おこし協力隊制度を活用し意欲ある若者を任用し、商品開発から起業、情報発信を行い、コーディネイト機関と連携した事業を行っていきます。

★ 六次産業化への補助制度及び金融支援

六次産業化・地産地消を推進するために、六次産業化に取り組む事業者にはチャレンジ応援補助事業費補助金を活用していく。

また、金融機関と連携し、六次化事業のたに優れた新商品・新サービスを高く評価するしくみづくりを検討します。

★ 遠野ゆかりの店・品の情報発信

遠野ゆかりの店探しを行い、遠野の地域資源の活用を促すほか、遠野ゆかりの店としての情報発信に協力していただきます。

★ ビールの里づくり事業支援

地域資源「ホップ」を活用した商品開発の加速化し、個人版企業版ふるさと納税額向上による取り組みが持続可能な財源確保に努めます。

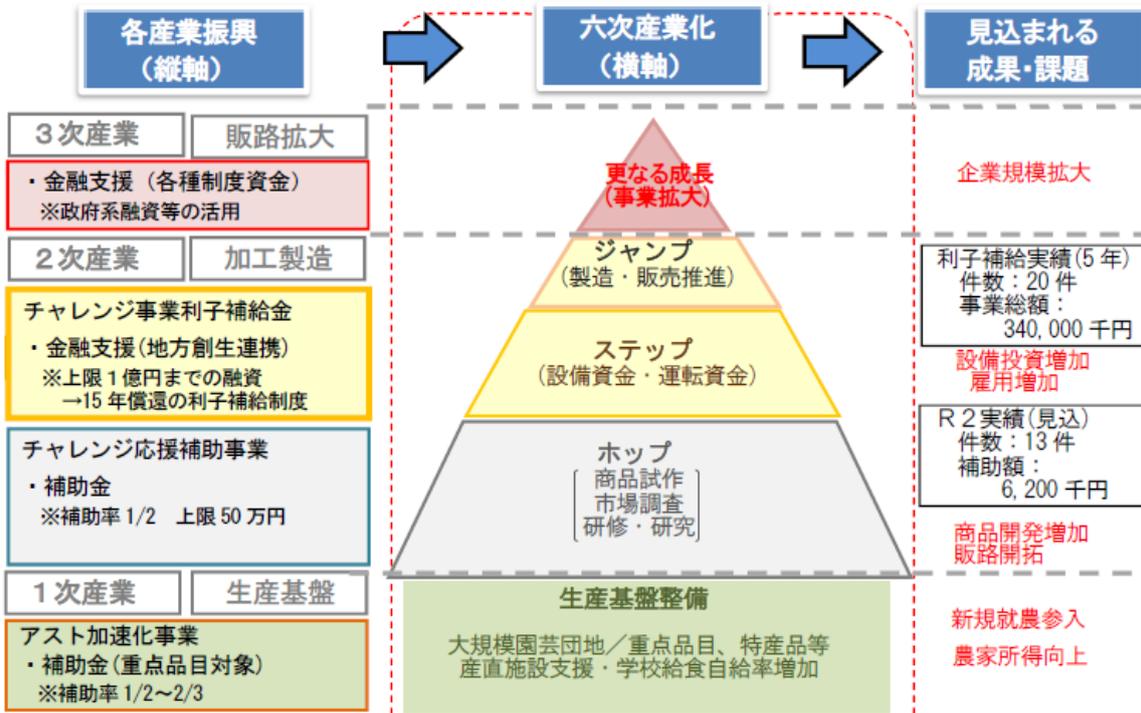


「ホップの里からビールの里へ」ビアツーリズムの風景

遠野市 六次産業事業の仕組み(令和2年度版)

カネ

1次・2次・3次産業を縦軸に、6次産業を横軸とした総合金融支援



ヒト

遠野ローカルベンチャー事業

地域おこし協力隊の意欲あるプレーヤー（起業を希望する若者）を大都市から招致。六次産業化を含む、1次～3次の各産業分野でのモデル事業として先行

- ▶ 遠野市内で創業するフィールドとなる「移住+起業」のプラットフォームと受皿を整備
- ▶ 地域資源を活用した六次産業化、農工商連携を加速させ、農業参入や新規創業を創出

地域おこし協力隊

地方で仕事をつくりたい、移住したい 都市部の人材
3年後の定着に向け
事業計画+地域との協調
実績 28人（～令和2年度）

「移住+起業」プラットフォーム

人材のマッチング
…各組織・団体に派遣
プログラム開発
中心市街地施設の経営
空き店舗の活用 …ほか

募集+生活支援
インキュベーション
…人材の受入れと
起業支援、相談
情報共有

まちの人事部

現状の成果

・人口増 43人
・隊員家族含む
・新規創業 8件
・新規雇用 7人
・空き店舗活用 11件
R2.12.1 現在

コト

「ホップの里からビールの里へ」TKプロジェクトの第二ステージ

ホップ生産地

・ホップ生産地にのみ
フォーカス
・ビール発売イベント
の周知活動
・内容・参加者もマン
ネリ化

栽培 57年目
作付面積日本一

開かれたイベント・多様な連携

・遠野ホップ収穫祭
・フレッシュホップ
フェスト
・横浜オクトパー
フェスト
・岩手クラブビール
フェス等々
・ピアツーツリス
・WEBサイト開設

・乾燥センター見学
・ほ場周辺環境学習
・ホップ和紙
・グリーンカーテン
・パドロン生産拡大
・クラフトビール
醸造所開設
・J Rとの連携

市内産業全体
の底上げ

現状の成果

・イベント参加者増加
・通販売上増加
・個人版・企業版
ふるさと納税増加
・新規就農者増加
・ビールの里認知度
の向上
・遠野食材の販路
開拓

課題 減少するホップ農家・感染症下でのイベント開催



このロゴマークは、農林水産省が定める6次産業化ロゴマークです。
遠野市が6次産業化を積極的に推進する意思を表示するものとして使用しています。



遠野市六次産業化・地産地消推進協議会

(事務局) 遠野市産業部六次産業室

0198-62-2111 (内線 441)

<http://www.city.tono.iwate.jp>

